

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390400246
事業所名	グループホーム たのしい家名西

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会や地域の神社会に加入し、行事の案内などは近所の方が持参し情報を得ている。地域の祭りは再開され入居者と一緒に参加ができ、清掃活動や地域消防訓練、朝のラジオ体操など地域との交流は状況に応じ検討している。地域ボランティアの受け入れや中学生の職場体験の受け入れは順次再開する予定となっている。日々の散歩を通して地域の方との交流に努めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は2か月に1回実施している。コロナ禍の入室制限期間は事業所単独で書面開催をしている。制限の緩和後は、同法人3事業所と合同で開催している。各事業所の現状報告や事故報告、活動の取り組み状況について報告したり、参加者からは意見や要望を聞いている。出された意見は必要に応じてその場で話し合ったり、職員間で協議したりして運営に反映させている。議事録は家族に報告しているが、地域の委員、老人会や包括支援センターにはまとめて送付する方向にある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	入居手続きの相談で担当窓口を訪れ、事業所のサービス内容を伝えたり、アドバイスや指導を受けている。介護保険の手続きや申請の書類などは郵送し、各種報告事項等は電話やメールを利用して情報交換をしている。市が開催する研修には必要に応じ参加するようにしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	日々の生活の中から入居者の意見や要望を聴いている。家族からは面会時や電話などで意見や要望を聞くようにしている。聞いた意見は申し送りノートに記録したり毎日の朝礼や会議で話し合ったり、日々のケアや運営に反映させている。また、毎月の行事をブログを利用して発信したり、ショートメールで状況を伝えたり、職員のコメントを添えた個別のお便りを家族に届けたりしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議は入室制限の緩和後、同法人3事業所と合同で開催し、地域包括支援センター職員の参加も得ている。職員のコメントを添えた個別のお便りは、より多くの生活状況が家族に届くように構成を工夫して作成するように検討をしている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価					○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	○	○	○							